

## 第21回 土木施工管理 技術論文・技術報告 募集

(一社)全国土木施工管理技士会連合会では、技術論文・技術報告を募集します。  
優秀な原稿に対しては、技術論文報告審査委員会に於いて審査し、表彰いたします。

### 応募要領

#### 1. 応募資格

土木施工管理技士（1級または、2級有資格者）で個人または連名（共同執筆者は2名まで）  
他団体、当会（CPDS含む）に提出した論文・報告は応募出来ません。

#### 2. 種類と内容

技術論文と技術報告の2種類があります。工事規模の大小・工種の制限はありません。

##### (1) 技術論文

工事現場における課題解決のために、新規性・有用性に優れた創意工夫・技術的改善、高度な調査・  
技術開発等を行い、他の施工管理技士の参考になるようにまとめたものを対象とします。

##### (2) 技術報告

工事現場における課題解決のために、創意工夫や技術的改善等を行い、他の施工管理技士の参考にな  
るようまとめたものを対象とします。

#### 3. 応募

(1) 応募方法：オンラインからご応募ください。

(2) 募集期間：平成28年9月12日から平成29年1月6日（金）

(3) 応募数について

主執筆者共同執筆者にかかわらず、一人1件の応募とします。

また論文と報告の重複応募はできません。

同じ会社の方からの応募は、論文・報告とも一社あたり各4件までとします。

(4) 応募料金

技士会会員は無料、非技士会員は2,000円（学習登録手数料は別途）

(5) 原稿について

##### a. ページ数

技術論文…わかり易い図（写真含む）・表をいれて、全体で雛型A4用紙4枚。

技術報告…わかり易い図（写真含む）・表をいれて、全体で雛型A4用紙2枚。

但しどちらも、図表の分量はページの半分以下とします。

b. 構成 原則として以下の①～④の構成にしてください。

① はじめに（適用工種 工事概要を含む）

② 現場における課題・問題点

③ 対応策・工夫・改善点（特に個人として実行したこと）と適用結果

④ おわりに（他の現場への適用条件、今後の留意点など）

c. 要旨

論文・報告の要旨（技術の現状・現場の課題・工夫改善結果等の内容、100-200文字程度）を「d.」  
の雛型に合わせて記述してください。要旨は「a. ページ数」には含まれません。

d. 原稿様式

Wordで作成してください。

文字の大きさや行数、図表の表示については、当会ホームページから雛型をダウンロードして、

これを使用してください。原稿の容量は 15 MB 以内とします。

(6) その他

論文・報告中の商品名の記載は排除しませんが、商品名の宣伝や誹謗の意図が明確なものは認められません。

図表及び本文を引用した場合は、当会への提出前に必ず出典元許可を事前に得て、発注者への確認もお願いします。

(7) 著作権について

①本著作財産権は、本著作者が論文・報告を応募した時点をもって、当会に譲渡されたものとします。

②著作者自らが著作物の全文、または一部を複製・翻案などの形で利用する場合、当会は原則として、その利用を妨げません。

4. 審査

(1) 応募された論文・報告は当会において査読し、内容が一定水準以上で応募要領を満たしているものを受理とします。受理の場合は、論文 15 ユニット（共同執筆者 3 ユニット）報告 10 ユニット（共同執筆者 2 ユニット）を付与します。

(2) 受理された論文・報告は当会の技術論文審査委員会において審査し、表彰します。

審査においては以下の項目に重点を置いて評価します。

- ①現場の課題解決のための創意工夫、施工・施工管理等の技術・効率の向上
- ②工夫の他の現場への適用のしやすさ・適用の広さ、次世代への技術伝承などの適用性
- ③時宜を得たタイムリーな内容であること  
特に i-Construction に係る建設現場の労働災害や労働力不足に対する工夫などを評価
- ④工事規模の大小にとらわれず、施工管理技士としての工夫

(3) 受理された論文・報告は、当会で論文報告集として発行するほか、都内で行う当会主催の技術発表会で発表していただくことがあります。

5. 表彰

審査結果は会誌 JCM マンスリーレポート 2017 年 7 月号に掲載します。

受賞者には賞金（協賛：（一財）日本建設情報総合センター）と表彰のユニットを付与いたします。

賞の種類	技術論文		技術報告		備考
	表彰賞金等	ユニット	表彰賞金等	ユニット	
最優秀賞 1～2名	7万円	30(6)	3万円	20 (4)	最も技術的に優秀な1編（増岡康治記念会基金より）。ただし幅広い領域の技術振興のために、異なる領域で非常に優秀なものがある場合にはさらに1編を選定。
i-Construction 賞 1名	7万円	25(5)	-	-	i-Construction を実践し、成果をあげた論文1編を選定。
優秀賞 応募数の5% 程度	1万円	25(5)	1万円	15 (3)	技術的に優秀な論文報告。
特別賞 1名	1万円	20(4)	1万円	15 (3)	特定の分野や他にない独自性などが高く評価された論文報告。

(注) 受理ユニットは 29 年 2 月末、表彰のユニットは 29 年 5 月末に付与します。表彰欄のユニット数には受理ユニットが含まれます。

( ) 内は共同執筆者分です。

(注) i-Construction 賞は（一財）日本建設情報総合センター協賛です。

以上